

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場会社名 株式会社 札幌北洋ホールディングス  
 コード番号 8328 URL <http://www.sapporohokuyo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事務局長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 札

(氏名) 横内 龍三  
 (氏名) 東 陽一  
 特定取引勘定設置の有無 無

TEL 011-261-2417

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	136,229	△6.4	24,088	—	22,099	—
21年3月期第3四半期	145,661	—	△112,508	—	△69,601	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	55.40	27.78
21年3月期第3四半期	△174,484.64	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	7,246,311	306,600	2.8	517.61
21年3月期	7,230,316	233,097	1.8	332.16

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 206,465百万円 21年3月期 132,499百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	1.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,500	△7.9	23,500	—	19,500	—	44.44

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	399,406,530株	21年3月期	399,406,530株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	524,158株	21年3月期	523,220株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	398,882,791株	21年3月期第3四半期	398,895株
----------------------	-------------	--------------	-------------	----------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第3四半期連結会計期間に係る損益計算書については、「5. 四半期連結財務諸表」の末尾に「参考」として開示しております。

2. 株式の分割について

当社は、「株式等の取引に係る決済の合理化を図るための社債等の振替に関する法律等の一部を改正する法律」(平成16年法律第88号)が施行されたことによる株券の電子化に伴い、同制度の対象外とされている端株の整理を行うことを目的に、平成21年1月4日に普通株式1株を1,000株に分割しております。

3. 業績予想について

将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するもので、経営環境に関する前提条件の変化等、様々な要因により予想対比大きく変化する可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金が減少したことによる資金運用収益の減少を主因に前年同期比94億円減少し1,362億円となりました。一方、経常費用は、有価証券の償却(減損)が減少したことに加え、広く経費削減に取り組んだことから前年同期比1,460億円減少し1,121億円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比1,365億円増加し240億円、四半期純利益は前年同期比917億円増加し220億円となりました。

なお、事業の種類別セグメントでは、銀行業の経常収益は前年同期比129億円減少し1,118億円、経常利益は前年同期比1,358億円増加し238億円となりました。また、リース業の経常収益は前年同期比35億円増加し217億円、経常利益は前年同期比5億円増加し7億円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、7兆2,463億円と前年度末比159億円増加いたしました。貸出金は、事業者向け、個人向け及び地公体向けがいずれも増加し、5兆1,116億円と同1,600億円増加となり、有価証券は、1兆5,913億円と同2,091億円増加いたしました。

負債は、6兆9,397億円と前年度末比575億円減少いたしました。預金及び譲渡性預金は、個人預金及び法人預金が堅調に増加したことから6兆6,648億円と同1,234億円増加いたしました。

純資産は、3,066億円と前年度末比735億円増加いたしました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は220億円と、通期の業績予想対比112%の進捗となりましたが、経済情勢が引き続き予断を許さない状況が続くと見込まれること等から、平成22年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点での変更はいたしません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当ありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

② 貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、中間連結会計期間末の予想損失率を適用して計上しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当ありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

（有価証券の評価基準及び評価方法の変更）

その他有価証券で時価のあるものの評価方法は、従来連結決算日の市場価格等に基づく時価法により行っておりましたが、株式及び市場価格のある受益証券については、前連結会計年度より連結決算日前1カ月の市場価格の平均に基づく時価法に変更したため、前第3四半期連結累計期間と当第3四半期連結累計期間で評価方法が異なっております。

なお、前第3四半期連結累計期間において、上記の算定方法を適用した場合は、「有価証券」は5,108百万円減少、「金銭の信託」は115百万円減少、「繰延税金資産」は0百万円減少、「繰延税金負債」は3百万円増加、「その他有価証券評価差額金」は2,663百万円増加します。また、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ7,891百万円増加します。

（税金費用の処理方法の変更）

税金費用の処理は、従来、一部の連結子会社で、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定する四半期財務諸表の作成に特有の会計処理方法を適用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、年度決算と同様の方法へ変更しております。

この変更は、年度決算と同様の方法を採用することにより、四半期連結会計期間に係る財政状態及び経営成績をより適切に表示することを目的として行われたものであります。なお、これによる当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表等に与える影響は軽微であります。

また、上記に伴い、従来の四半期連結会計期間において、「法人税等調整額」は「法人税、住民税及び事業税」に含めて一括掲記しておりましたが、第1四半期連結会計期間より区分掲記しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	178,477	592,820
コールローン及び買入手形	101,328	11,001
買入金銭債権	13,831	12,483
商品有価証券	7,010	8,219
金銭の信託	6,651	14,777
有価証券	1,591,300	1,382,172
貸出金	5,111,692	4,951,620
外国為替	1,624	1,561
リース債権及びリース投資資産	46,454	40,740
その他資産	76,561	85,929
有形固定資産	98,314	92,610
無形固定資産	12,599	14,862
繰延税金資産	54,217	75,067
支払承諾見返	66,651	60,510
貸倒引当金	△120,404	△114,060
<b>資産の部合計</b>	<b>7,246,311</b>	<b>7,230,316</b>
<b>負債の部</b>		
預金	6,489,846	6,445,510
譲渡性預金	174,989	95,843
債券貸借取引受入担保金	—	31,833
借入金	113,143	278,101
外国為替	78	31
その他負債	76,906	65,214
賞与引当金	416	2,158
退職給付引当金	10,125	10,098
役員退職慰労引当金	398	432
睡眠預金払戻損失引当金	956	1,116
ポイント引当金	177	167
繰延税金負債	270	183
再評価に係る繰延税金負債	5,748	6,018
支払承諾	66,651	60,510
<b>負債の部合計</b>	<b>6,939,711</b>	<b>6,997,219</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	73,279	73,279
資本剰余金	69,866	69,866
利益剰余金	3,834	△18,663
自己株式	△439	△439
<b>株主資本合計</b>	<b>146,541</b>	<b>124,042</b>
その他有価証券評価差額金	52,821	910
繰延ヘッジ損益	△613	△563
土地再評価差額金	7,717	8,109
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>59,924</b>	<b>8,456</b>
少数株主持分	100,135	100,598
<b>純資産の部合計</b>	<b>306,600</b>	<b>233,097</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>7,246,311</b>	<b>7,230,316</b>

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
経常収益	145,661	136,229
資金運用収益	90,820	84,178
(うち貸出金利息)	73,623	68,866
(うち有価証券利息配当金)	16,427	14,950
役務取引等収益	21,157	20,556
その他業務収益	21,656	25,017
その他経常収益	12,026	6,477
経常費用	258,170	112,141
資金調達費用	14,501	10,664
(うち預金利息)	11,708	7,445
役務取引等費用	6,416	6,388
その他業務費用	117,657	21,270
営業経費	60,698	56,466
その他経常費用	58,896	17,351
経常利益又は経常損失(△)	△112,508	24,088
特別利益	9	38
固定資産処分益	0	9
償却債権取立益	9	29
特別損失	1,155	1,711
固定資産処分損	1,120	445
減損損失	34	1,265
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△113,654	22,415
法人税、住民税及び事業税	△43,924	381
法人税等調整額	—	296
法人税等合計	△43,924	678
少数株主損失(△)	△129	△362
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69,601	22,099

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

第3四半期連結会計期間に係る損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
経常収益	40,306	43,912
資金運用収益	27,474	28,165
(うち貸出金利息)	24,770	22,885
(うち有価証券利息配当金)	2,477	5,162
役務取引等収益	6,996	6,826
その他業務収益	5,319	7,771
その他経常収益	515	1,149
経常費用	139,836	36,278
資金調達費用	4,705	3,342
(うち預金利息)	3,547	2,284
役務取引等費用	1,898	2,055
その他業務費用	83,246	6,956
営業経費	20,575	18,316
その他経常費用	29,410	5,607
経常利益又は経常損失(△)	△99,530	7,634
特別利益	2	7
固定資産処分益	—	5
償却債権取立益	2	1
特別損失	1,071	528
固定資産処分損	1,063	217
減損損失	8	311
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△100,599	7,113
法人税、住民税及び事業税	△38,810	152
法人税等調整額	—	△234
法人税等合計	△38,810	△81
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△32	85
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,756	7,109